

第 19 回 若手かんがい排水技術者のための勉強会（現地見学会）

令和 6 年 8 月 1 日、2 日に新潟県において第 19 回若手かんがい排水技術者のための勉強会（現地見学会）を北陸農政局、新潟県、新潟市、新潟県土連、亀田郷土地改良区、新津郷土地改良区の協力により新潟大学、筑波大学、岐阜大学、近畿大学、東京大学、東京農工大学、32 名の参加により開催した。

現地見学会においては、親松排水機場、車場揚水機場及び大秋排水機場を見学し、地域農業の歴史や農業水利施設が果たす役割について学ぶとともに、(株) 白銀カルチャーで、スマート農業の導入状況や今後の課題についての説明を受けた。また、日本初の公立教育ファームとして平成 26 年に開園した新潟アグリパークでは、新潟市の農業概況や施設設立の背景の説明と施設の見学を行った。同研修室で開催した勉強会では、公務員や民間企業の職員より業務内容等についての説明を受けた。

表 プログラム

時 間	行 程
< 1 日目 >	8 月 1 日（木）
13 時 15 分～13 時 30 分	JR 新潟駅（南口）貸切バス乗り場 集合
14 時 00 分～15 時 00 分	親松排水機場 現地視察
15 時 30 分～16 時 30 分	新潟アグリパーク ・ 概要説明、施設視察（加工支援センター、農業体験施設他）
16 時 30 分～17 時 30 分	勉強会 @新潟アグリパーク内研修室 ・ 農業農村工学系の就職先について
18 時 10 分	宿泊施設 着 （ホテルサンルート新潟）

< 2 日目 >	8 月 2 日（金）
8 時 00 分	宿泊施設 発
8 時 30 分～9 時 50 分	車場揚水機場、大秋排水機場 現地視察
10 時 15 分～11 時 15 分	(株) 白銀カルチャー スマート農業現場見学
12 時 00 分	JR 新潟駅 解散

1. 現地見学会

（1）親松排水機場

親松排水機場は亀田郷地区の日常的な排水を担う施設として、昭和 43 年に建設、平成 20 年に老朽化に伴う更新が行われた。亀田郷地区は海拔ゼロメートル以下の土地が約 3 分の 2 を占める低平な輪中地帯であるが、同排水機場を稼働し信濃川への常時排水（24 時間運転）を行うことにより、鳥屋野潟の推移を常時マイナス 2.5m に維持し、安定的な農業活動を実現している。近年では、同排水機場周辺の都市化が進み、農業生産を維持するとともに、市民生活を支えるために欠かせない役割を果たしているとの説明を受けた。

(2) 車場揚水機場、大秋排水機場

車場揚水機場及び大秋排水機場が設置されている新津郷地区は、新潟県新潟市秋葉区及び南蒲原郡田上町に位置する信濃川、小阿賀野川および新津丘陵に囲まれた低平や班輪中地帯に広がる2,367haの水田地帯である。両施設は国営新津郷土地改良事業（昭和47年度～平成元年度）により造成され、用水不足の解消や乾田化による営農条件の改善、豪雨時の水害回避に貢献している。

しかし、造成から40年以上が経過したことによる老朽化の進行により、維持管理が困難となっていることから、現在、国営事業による改修が計画されているとの説明を受けた。

(3) 新潟アグリパーク

新潟アグリパークは、平成26年に日本初の公立教育ファームとして開園した施設である。6次産業化支援と教育ファーム、就農支援の3つの機能を持っており、農業に関する体験施設のほか、宿泊施設、レストラン、農産物直売所、食品加工室や研修室を備えた「食品加工支援センター」も併設している。また、教育ファームとしては、学習と農業体験を結び付けた「アグリ・スタディ・プログラム」として、子供たちへの農作物の収穫、家畜の乳しぼりや餌やり、調理などの体験を提供することで、地域の農業・食文化に興味を持ち、食の大切さへの理解や地元への愛着を深め、ひいては地域に誇りを持つことを目指しているとの説明を受けた。

(4) (株) 白銀カルチャー

(株) 白銀カルチャーは、ほ場整備を契機に担い手6戸が立ち上げた生産組合が、2003年に設立した農業法人であり、新潟市秋葉区において約120ha（水稻44.0ha、大豆60.6ha、小麦7.3ha、枝豆12.3ha等）の農地で営農を行っている。生産性と所得の向上を目指して、平成28年度から積極的にスマート農業に取り組んでおり、令和元年度からは研究機関や農機メーカーと協同して、ロボットトラクターや自動給水栓、農薬散布ドローン等の実証にも取り組んでいる。今後、スマート農機の導入促進に必要な課題として、ほ場の大区画化や自動走行を見越した通路の確保等が重要であるとの説明を受けた。

2. 勉強会（農業農村工学系の就職先について）

新潟アグリパークの会議室にて開催された勉強会では、国（北陸農政局設計課）、県（新潟県農地部）、市（新潟市農林水産部）、県土連（新潟県土連総務部）、民間企業（NTC コンサルタンツ）の担当者から、それぞれの職場での業務内容や採用情報等について、各自の経験や経歴も交えつつ、ご説明いただいた。

農業農村工学に関係する各機関・企業が一堂に会して説明する機会を設けたことで、農業土木技術者に求められる役割は非常に大きいこと、また業務の実施に当たっては、国・県・市・土連・民間がさまざまな立場から連携して対応していることが理解でき、参加した学生からは就職先を検討する上で大変参考になったとの声が聞かれた。



親松排水機場（概要説明）



親松排水機場（施設見学）



車場揚水機場



大秋排水機場



新潟アグリファーム（概要説明）



新潟アグリファーム（施設見学）



（株）白銀カルチャー



勉強会